
夢中夢

榎井ロビン

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢中夢

【Nコード】

N8469Z

【作者名】

樫井ロビン

【あらすじ】

夢の中で見る夢は、現実より悲しいね。

ヤバイ。最近、心身ともにやられてるのだけど
昨夜はたぶん、ほとんど眠ってない。

夢を見ていたのだけれど、その夢はかつて見た夢。

元カレと、旅行に行く、同じシチュエーション、同じ感情、
でも、すごい既視感。かつて自分が見た夢の中にいる自分が
わかってて、でもうまく振るまえない。

ロビンは、実際に部屋を7、8回引越している。

そして、夢の中でも、何個か部屋がある。

夢を見てるとき、それが、夢の部屋なのか、本当にかつて
過ごした部屋なのか、わからない。本当に、目覚める瞬間まで
わからない。そして、目覚めた瞬間さえも、時々自分がどこに
いるのかわからない。180度、景色が回転して、「あ、今の部屋
だ」

と気付くことが多い。

あと、ドアが壊れる夢。丁つがい（っていつの？）のほうからドア
が壊れて

もう、ドアがべろんべろんになってて、そこに誰かが入ってこよう
として

こわくてこわくて。でも、今年の夏くらいに、その夢の中で

現実には、脳梗塞で左半身麻痺している父が出てきて

「お父さんが、直してやるから、大丈夫」って、言ってくれて、
泣いてくるほど、ほっとした。夢の中でも父の左半身は麻痺してた
けど、

ああ、お父さんだ、って思った。

実際は幼児返りして、そんなこと言ってくれそうにないんだけど。

あゝ、なんか悲しいページになってきたので、この辺で、おちろばええ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8469z/>

夢中夢

2011年12月26日21時06分発行